



文化を創り、受け継ぐ

副校長 関口 慶朋

学習発表会当日は、冷たい雨の日にもかかわらず地域・保護者の方々にお集まりいただきありがとうございました。

体育祭が学年を縦割りにしての行事に対して、学習発表会は学年が単位です。各学年ごとに舞台発表や、展示発表を工夫しています。学習発表会は、日頃の授業の成果を発表する場と、文化を伝えるところでもあります。

ところで、この「文化」と言う言葉は何となくわかるようで、それでいてうまく説明できない言葉です。辞書によると、①進歩・向上をはかる人間の営み。私たちが進歩・向上するためにすること、考えること。②私たちの前の人からの受け取り、そして私たちの後から来る人たちに伝えようとするもの。

学校での学習すべてがこの両方に当てはまります。つまり、進歩・向上をはかるために学習するのです。

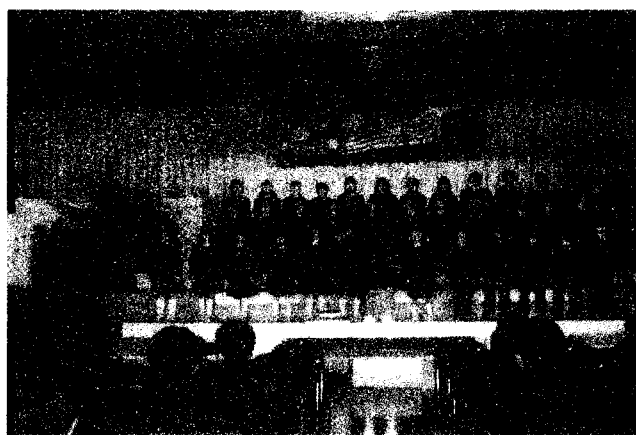
また、今までの知識や技能を習得することが学習であり、大人になってからは、それを子供たちに伝えるのです。辞書の説明に「私たちが」であることに大きな意味が

あります。

進歩・向上も、過去から未来へ引き継ぐのも個人でなく、多くの人が、と言うことが大切だと思います。

今年度、2年生の有志が東京の姉妹都市である N・Y 市の中学生とインターネットを通じ「環境」について文化交流を行った発表がありました。慶応大学の学生から支援協力を受けながら相互に環境について学びあいました。月に2回程度の活動ですが、一つのテーマを共有して調べ、学び合うことの大切さを教えてくれました。こうした交流を通して、他国へ日本の文化を発信する活動は大変意義のあるものです。

学習発表会で一番うれしかったのは、「仲間と一つのものを創りあげた時だ」と言った生徒が多かった事です。これはまさに文化の本質をついてます。当日は全校生徒や、保護者・地域の人々に見てもらい感動をよびました。仲間とともに共有し創ったものが、より広い範囲に文化として定着していくことでしょう。



渋谷区立陸上競技大会

3 B	阿部 愛	3年女子走高跳	1 m 4 0	第1位
2 B	大西 航平	2年男子100m	1 2 秒 7 8	第1位
3 A	吉田 尚未	3年女子砲丸投	8 m 7 1	第2位
3 B	土屋 炎伽	3年女子100m	1 4 秒 6 6	第2位
2 A	金 勲	2年男子走高跳	1 m 4 5	第2位
1 A	野崎 佳純	1年女子1500m	5 分 4 8 秒 5 0	第2位
1 B	乗田 夏子	1年女子走高跳	1 m 2 0	第2位
3 B	トーベック マリコ	3年女子走高跳	1 m 3 1	第3位
2 B	谷口 魁斗	1・2年砲丸投	9 m 9 3	第3位
1 B	守屋 雄斗	1年男子走高跳	1 m 4 0	第3位
1 A	土屋 太鳳	1年女子100m	1 4 秒 6 9	第3位
3 B	中根 陽平	3年男子走幅跳	5 m 0 6	第4位
2 A	斉藤 里佳子	2年女子走幅跳	3 m 9 1	第4位
2 B	石崎 匠	2・3年男子800m	2 分 2 5 秒 8 0	第4位
2 A	石川 芙蓉	2年女子100m	1 5 秒 4 3	第4位
1 A	沖田 円香	1年女子100m	1 4 秒 7 2	第4位
3 B	阿久津 楓稀	3年男子1500m	4 分 5 9 秒 7 5	第5位
2 A	菰口 麻央	2年女子1500m	5 分 4 5 秒 6 4	第5位
2 B	小池 裕子	1・2年女子砲丸投	7 m 5 1	第5位
2 A	岩崎 友哉	2年男子走高跳	1 m 4 0	第5位
2 B	中山 賢志	2年走幅跳	4 m 7 0	第5位
3 A	日下部 洵	3年男子1500m	5 分 0 4 秒 1 0	第6位
2年男子4×100mリレー				第2位
岩崎 友哉、金 勲、谷口 魁斗、大西 航平				
3年女子4×100mリレー				第3位
桑原 百合香、森屋 はな、トーベック マリコ、土屋 炎伽				
1年女子4×100mリレー				第4位
乗田 夏子、小池 由莉、沖田 円香、土屋 太鳳				

平成19年度区民陸上競技大会

1 B	古賀 千尋	中学女子走幅跳	3 m 9 0	第1位
3 A	日下部 洵	中学男子3000m	1 0 分 5 2 秒 9 9	第2位

親子で楽しむ大向フェスタに参加して

2 A 結城 美帆

当日は雨が降っていて、「本当に今日は人がくるのかな」と思いながら家を出ました。学校に着いたら、すでにお手伝いの生徒がいて、私は綿アメを担当したので機械をセットし綿アメを作る練習を始めました。作るのを見た目より難しく大変でした。

私は今年、初めて参加しましたが、大勢の人に来ていただき嬉しく思いました。大向地区の方々やPTAの保護者の方々と多くの人と交流ができたのですごく楽しい一日でした。来年もお手伝いの生徒として参加し、楽しみたいと思います。